

横断演習Ⅱ “生きる”

ぶんたすプロジェクト ②



多様で柔軟な
思考力・表現力

生きづらいでした
…か。



生きづらいでした…か。

それなら、甲南大学文学部で「生きるための杖」を、ひとつ手に入れてみませんか。

全学科から10名の専任教員達が専門性を活かし、20名程の学生達と、「生きること」の問い方をみんなで考えます。

横断演習Ⅱは「生きる」がテーマです。

コロナ禍の状況ではすべての人が「生きること」について向き合い、考えざるを得ない状況に直面しました。また日常生活で「生きづらさ」を感じることも多々あります。人文学の諸分野で「生きること」の意味がどう問われ、どう議論されているのでしょうか。各学科の教員が専門性を活かした問題提起を行い、教員と学生が討論しつつ「生きること」の問い方をみんなで考えます。この「演習」は、甲南大学文学部らしい知の融合に基づく「生の人文学」の創造と教育実践をめざす試みです。教員と共に考え、多角的なものの見方を知り、成長していくことを目指す学生にお勧めです。



POINT

- ①主体的に「生きること」を問う力が身につく
- ②取得した単位は卒業単位になる
- ③他学科の学生と経験を共有できる



さらに詳しい情報は[コチラ](#)から

